



名取市図書館友の会 2023.12.20 第19号

なとと通信

事務局 nt.natoto@gmail.com



「なとと」
Facebook
QRコード



『名取市図書館開館5周年記念図書館まつり』が12月2日(土)～3日(日)の二日間にわたって開催され、延べ500名以上の方のご来場がありました。開場前から100人以上が並び大盛況の『ブックリサイクル』、多くの親子が参加した『工作コーナー』、お話に聞き入り子どもたちのきらきらした表情が見られた『おはなしのへや』。この一年の活動紹介や製作作品の展示、バザーなどの『なととの部屋』や『布の絵本とおもちゃ』も賑わいました。2日目は直木賞作家の『熊谷達也氏講演会』がありました。図書館まつり実行委員会、事前準備、開催当日等に参加、協力していただいた多くのなとと会員、ボランティアの皆さま、ありがとうございました。



名取市図書館開館5周年記念 熊谷達也氏講演会 ～小説家の読書～

「晴れていて良かったです」の第一声に会場との距離がグッと縮んだようでした。図書館まつり2日目12月3日に直木賞作家熊谷達也先生をお迎えして記念講演が行われました。私たちの知っている土地を多く描いている地元の小説家熊谷達也氏がいかにして誕生したのか、気になる興味深いお話もたくさん盛り込まれた楽しい講演会でした。

読書離れが危惧されている現代、読む習慣は「脳」と「心」の栄養、食事のようなものと捉えられているお話がありました。ネットはプロテイン+ビタミンで簡単に多量に摂れるの

に対して、本はいろんな食材、料理があるきちんとした食事。その中でも小説は前菜、彩りを与えてくれる。このお話に会場から頷きの姿が多くみられました。生きていく上で、栄養は欠かせないもの、読むことも大切なエネルギー源であり、生きる力に繋がっていると思えました。先生の読書は、小説家になる前の方が幸せな読書体験ができたようで、物書きになった今、読書の8割が資料、1割が好きな小説、残り1割がその他だそうです。仕事に関係した小説でもなく、単に興味があって手にしたその他の本は、余計なことを考えず、面白く読める幸せがあるとのこと。

最後にお勧めの本「サピエンス全史」と「哲学と宗教全史」の2冊をご紹介いただきました。

熊谷先生のこれからのご活躍を地元から親しみを込めてエールを送り続けていきたいと思います。



第9回 (11/21) 図書館の本で楽しもう！

～秋の草花を使った押し花カードづくり～

ウォーキング途中にふと目にした道端の小さな草花。思わず足を止め優しく声を掛ける。春から初秋にかけて、そんな経験をされた方も少なくなかったのでは。こうして朝のドラマ『らんまん』をヒントにして今回の企画は動き出しました。

早速見本を作り、役員会で手分けをして庭や道端での草花採集をして各々乾燥作業、持ち寄ってみると名前もわからない草花もいっぱいです。押し花を紙面に貼る方法はいくつか有るようですが、今回は、初めての透明フィルムを利用した制作です。参加の皆さんは慎重な面持ちながら手順に従って、葉書にと可憐でシックな大人のカードが完成しました。作品を手には、はいっチーズ！

今回の図書館の本



「押し花アートを楽しもう ①～④」

花と緑の研究所：著
汐文社：出版

第1回ポップコンテスト

初めて開催しましたが、31点の応募があり、なんと大賞1点、ポップコンテスト大賞2点などの優秀作品が選ばれました。

応募作品は、図書館まつり会場のなととの部屋で展示され、優秀作品には表彰状、応募者全員に参加記念品を贈呈しました。児童から大人、親子での作品など、多くの素敵なポップが応募されました。



★ ★ ★ 9月～11月のナイトライブラリー ★ ★ ★

9/29「えっぐおじさんと十五夜にウサギを作ろう」

今回は、えっぐおじさんこと菊地克三さんがゲストです。奥様もご一緒に出演してくださいました。菊地さんはエッグクラフト作家です。鶏の卵(勿論中身は無し)に絵付けをして作品を完成させます。地元のコミュニティ誌の表紙を飾ってから活動範囲が大きく広がりました。当日は丁度「中秋の名月」で満月と重なりました。参加者はそれぞれ自分の好きなウサギに色付けしていきます。豪華に着飾り、フリルのあるうさぎ。ピカチュウ風のうさぎ。シンプルに可愛いうさぎ。70分の時間があっという間の参加者全員が夢中になった一夜でした。



10/27「自宅でできる簡単ストレッチ」



名取駅前接骨院の三上将貴院長にお越しいただき、肩回りのストレッチを中心に紹介していただきました。関節の可動域や柔軟性を向上させる静的ストレッチングとしてよく知られているものですが、勘所(筋肉が延ばされたときに縮もうとする伸張反射を抑えるために20～30秒持続的に伸ばす、どの筋が伸びればよいか意識する、2セット行う、1日3回が目安、無理をしない等)を押さえて行くと、こんなに体が温まってスッキリするということを実感しました。

体がほぐれるいい時間になりました。

11/24 50回記念「名取のこれからの100年を語ろう」

今回のゲストは、セリ鍋の仕掛け人で、子どもたちの地域を学ぶ教材提供にも取り組まれている三浦農園の三浦隆弘さん。名取の歴史を踏まえ、来てよかったと思ってもらいたいと願って取り組んでこられた熊野那智神社宮司の井上幸太郎さん。コーディネーターに柿沼基子さんをお迎えして、お二人にそれぞれの思いを語っていただきました。

ゲストお二人の話には、名取の風土と文化の良さを今に生かして、ここで生活する価値を多くの人に感じてほしいという願いと、時間をかけて人を育てていきたいという思いが強く感じられました。

モラルを維持して、五感を大切にしていきたいという井上さんの言葉や、当事者意識を持って踏み込みこむことが大事との三浦さんの言葉が、これからの名取をつくるカギだと強く思いました。





♪わたしからあなたへ♪

本のバトン No.14



「HEARTBEAT」

松森英香

私のおすすめの本は、「HEARTBEAT(ハートビート)」という本です。小路幸也さんが手がけるこの作品は、「僕」という青年と、「ぼく」という少年の2人の視点で交互に物語が展開されていくミステリー小説となっています。

失踪人探しをする「僕」とその相棒、幽霊騒動に巻き込まれていく「ぼく」とその友達それぞれが過去の約束と心臓をキーワードに絡み合っていくようなお話です。散りばめられた伏線、ドキドキする展開…とミステリー小説として十分楽しめる上、登場人物の多くが誰かのために行動しているため、あたたかい気持ちになることもできる本だと私は思います。図書館にはもちろんありますし、続編も読むことができるので、興味がありましたらぜひ借りてみてください！



「HEARTBEAT」

小路幸也：著

東京創元社：出版

これからのナイトライブラリー

★ 12/22 クリスマスコンサート

エスポワール・フォレのみなさん

★ 1/26 「古墳時代の名取～雷神山古墳の謎～」

太田昭夫さん（市史編さん室調査員）

★ 2/29 詳細調整中

うかいのぶよし
鵜飼信好さん（読み語り塾「やまがっこう」主宰）



日時：毎月最終金曜日 19:30～20:30 会場：カフェコーナー 定員：40名
参加費：会員無料 非会員 300円 申込み：図書館へ

ごあんない

★ 講座「初笑い図書館寄席」 剋家清生さん（東北学院大学落語研究会OB会）

日時 1月21日（日）10:30～11:30 場所 公民館講義室

★ 図書館の本で楽しもう！ オーナメント作り

日時 2月20日（火）13:30～15:30

★ 名取市子ども読書活動推進講演会 詳細調整中

日時 3月16日（土） 講師 伊勢英子さん



でんごんぼん 来年もいろいろ企画したいと思っています。ご要望がございましたら、なんと事務局のメールにご連絡ください。それでは、みなさん よいお年を！